

製品名: CD172b ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08249**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	SIRPB1
別名	SIRPB1; Signal-regulatory protein beta-1; SIRP-beta-1; CD172 antigen-like family member B; CD antigen CD172b
遺伝子 ID	10326.0
SwissProt ID	O00241
免疫原	抗血清はヒト SIRPB1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、シグナル調節タンパク質（SIRP）ファミリーのメンバーであり、免疫グロブリン

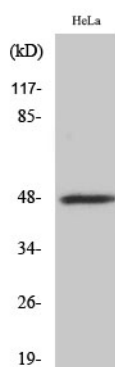
スーパーファミリーにも属します。SIRP ファミリーのメンバーは、受容体型膜貫通糖タンパク質であり、受容体チロシンキナーゼ共役シグナル伝達プロセスの負の制御に関与することが知られています。このタンパク質は、免疫受容体チロシンベースの活性化モチーフを持つタンパク質 TYROBP/DAP12 と相互作用することがわかりました。このタンパク質は、チロシンキナーゼ SYK のリクルートにも関与することが報告されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2009年2月],function:受容体チロシンキナーゼ共役シグナル伝達プロセスの負の制御に関与する免疫グロブリン様細胞表面受容体。 ,function:受容体チロシンキナーゼ共役シグナル伝達プロセスの負の制御に関与する免疫グロブリン様細胞表面受容体。チロシンキナーゼ SYK のリクルートにも関与する。 ,PTM:N-グリコシル化。 ,類似性:Ig 様 V 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 1 つ含む。 ,類似性:Ig 様 C1 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 2 つ含む。 ,サブユニット:TYROBP と相互作用する。この相互作用により SYK がリクルートされる。 ,組織特異性:単球および樹状細胞で検出される。 ,

研究分野

画像データ



SIRPB1 抗体を用いた HeLa 細胞、COLO 細胞、HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



CD172b ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析